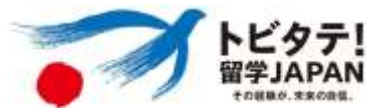


TOBITATE NEWS LETTER



2018 | 創刊号 vol.1



特報

メキシコ最大規模 国際交流イベント大成功！

丸田 理乃さん
(多様性人材コース 6期生)

持ち前のフットワークの軽さと情熱で、ソチミロコ(メキシコ)で最大規模日墨イベントを開催！

現地日系ネットワークを巻き込み実行委員長として大奮闘！当日は3万人を超える観客が押し寄せる一大イベントに！

3ページで詳しく紹介！

トビタテ初！女性起業家アワード グランプリ受賞！

渡部清花さん
(新興国コース 1期生)

日本における難民の住居や就労支援を行うNPO法人WELgeeの代表として、INCO(フランス)主催『2018年女性起業家アワード』にてグランプリを受賞しました。審査当日は、会場であるパリ市庁舎に社会起業家、ジャーナリスト、映像クリエイターを含め、総勢1000人以上の観衆で埋め尽くされた中で90秒ピッチを行い、パリ市長を含む17人のパネリストによる審査の結果、見事グランプリを受賞しました。

トビタテ！体感イベント開催！！

トビタテ生の熱い想いが感動を呼ぶ！

7月29日(日)の第9期壮行会に合わせて開催しました「トビタテ！体感イベント」。ご支援を検討いただいている方を始め来場者様38名を迎え、満席となりました！プロジェクト説明の他、4名のトビタテ生によるプレゼンテーションを実施。驚きの声や拍手も巻き起こるほど、トビタテ生の熱のごもった発表に会場が呼応する良い雰囲気での実施となりました。

それぞれが留学に込めた熱い想いを語った
(左から中村さん、武田さん、飯塚さん、安永さん)

勇気とエネルギーをもらえる体感イベントを見させてください、有難うございました。いい学生達は応援したくなりますね(NPO勤務 Hさん)

来場者の声

帰国後もしっかり考えて活動しており、経験が身になっていることに感じました！！
(会社員 Iさん)

好評★WEB連載！！

世界に羽ばたく若き挑戦者たち

トビタテ！公式HP内で、主にご支援くださる皆さま向けに、「なぜ私が留学に行ったのか」、「現地での学びは何か」という観点でトビタテ生自身が原稿を書き下ろしました。最新号は、グアテマラ・パラグアイ・メキシコの3か国に留学した望月ゆうさんです。公式HPにて公開中！

新興国コース 5期生
望月ゆうさん

[こちらからご覧ください](#)

トビタテ生コラム

いま何してる？

理系・複合・融合系人材コース 6期生
助友千尋さん



インタビュー

ドイツで品種改良を究める

2017年9月から約1年間ドイツに留学している助友さんは、育種学(農作物の品種改良)を専門として、①育種業界の最先端技術である「ゲノム編集技術*」と②動植物の品種改良に関して勉強する為、ゲッティンゲン大学への留学とKWS種子株式会社でのインターンに取り組んでいます。同じ育種学でも日本とは違うアプローチで種の選別をすることに新鮮さを感じており、ゲノム編集技術による効率的な種の選別を実施する為、統計学とプログラミングの受講を求められたことをエピソードで語ってくれました。インターンでは、ドイツ人上司2人と相談しながら、「テンサイ」の品種改良の研究計画を練り、実験を通じて研究成果を出したことで、海外で働ける自信と主体的に考える習慣を身につけたようです。帰国後は品種改良の研究を行う傍ら、消費者により直接関われる食品会社への就職を考えているとのことでした。

*ゲノム編集技術：ゲノム上の特定の場所に変異を誘導する技術。「遺伝子組み換え技術」とは異なる。



世界トップレベル大学等コース 1期生
齋藤直哉さん



本人寄稿

トビタテの経験を糧に。再び飛び立つ！

4年前、トビタテ!留学JAPANにご支援頂き、1期生として、リヨン政治学院で、フランスからみた国際政治、法律を学び、何故フランスでは日本と比べ、労働者の権利が厚いのかを研究しました。帰国後は仏語を用い世界で働きたいと考え総合商社に入社しましたが、配属先はタイチーム。自分の強みを生かせない中、トビタテで聞いた「20代のうちに3回留学しよう」という言葉や留学中知り合った外国人研究者に影響を受け、今年9月より東欧史、東欧政治を学ぶ為、チェコのカレル大学修士課程に進学することになりました。当時の留学がないと、退職し大学院を志すことは考え難く、トビタテを通じ、刺激的な人々に出会えたことに深く感謝しています。

トビタテ・コミュニティとまりぎ 報告

とまりぎ関西主催、奈良観光大使のトビタテ生の案内で奈良遠足を行いました。薬師寺でのお坊さんによるお話が印象的で、海外の経験も交えつつ、改めて仏教の思想について深く学べたと思います。関東や東海地域からも参加があり、期や留学先、年齢をこえて交流することができました。
(とまりぎの詳細はこちら)



支援者のみなさまへ～感謝の手紙～

アメリカの保育施設でインターン (多様性人材コース 6期生 笠尾穂波さん)

トビタテ留学! JAPANへご支援をいただいている皆様、私に「留学」というきっかけを与えてくださり本当にありがとうございます。私は本奨学金を利用してアメリカのシアトルに1年間行ってきました。日本から離れ、勉強していたアメリカの文化、生活、食事などを肌で感じることで大変視野が広がりました。そして「自分らしさ」を大切にしたいと強く思うようになりました。この気持ちは今の私を前向きに支えており、帰国後もやりたいことに積極的にチャレンジすることができています。トビタテ! 留学JAPANがなければ留学を諦めていたかもしれないと考えると、機会を与えてくださったことに心から感謝しております。この先、私はより多くの後輩達が視野を広げる

きっかけを得られるためにも留学などのチャンスを与えていきたいと考えており、次の世代に繋げられるよう、これからも努力していきます。

本人紹介

米国Bellevue Collegeに留学する傍ら、学内外の保育園で6ヶ月間インターンを経験。現地では思いやり・諦めない姿勢を養う保育方針に感銘を受け、将来は「子どもの可能性を引き出し、自分の価値観や軸を知ることの大切さを伝えていきたい」と語ってくれました。



継続ご支援のお願い

1人でも多く意欲と能力ある若者が海外で挑戦を続けられるように、

温かいご支援を引き続き宜しくお願い申し上げます。



マンスリー寄附 / 1回限りの寄附

クレジットカードで1000円からご寄附いただけます。
[お申し込み用公式WEBサイトへ](#)



ポイント寄附

クレジットカードに貯まったポイント等での寄附も受け付けております。(対象：三井住友VISAカード、出光カード、アプラスカード、ネットマイル)



認知拡大のご協力のお願い

ポスター掲示やリーフレット配布のご協力もお願いしております。

寄附者の声



新興国コース 1期生
山口 諒真さん

僕はトビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラムの1期生としてご支援いただきました。お金では得られない貴重な経験と、全国の志高い仲間との繋がりを得ることができ、自分の可能性が広がり感謝しています。このようなプログラムを次の世代にも繋ぎたいと思い、少額ですが寄附させていただきました。

※本ページに掲載されているインタビュー等は取材当時(2018年7月時点)の情報です。

メキシコとの文化交流にトビタテ生が大活躍！

メキシコシティ・ソチミルコで行政とタイアップ

7月29・30日に開催された文化交流イベントが大成功!!



丸田 理乃さん

(多様性人材コース 6期生)

2013年2月に初めてメキシコを訪れて以降、5回のメキシコ留学、3回のメキシコ旅行をする。「日本とメキシコのかげ橋になること」を目標に、2017年4月から4か月間、トビタテ生としてメキシコに留学。

熱い想いに行政が動いた

日墨文化交流を図りたいというパッションを胸にイベントを企画した。開催場所はメキシコシティの行政区であり世界遺産の街であるXochimilco(ソチミルコ)が相応しいと判断、昨年7月に区長に面会し企画を提案した。その結果、熱い想いに区が応える形で、「そち祭り」が開催されることになった。

メキシコシティ中を奔走

丸田さんは実行委員のトップとして、イベントの総合企画やスポンサー集めに尽力。当日の来場者は3万人を超え、在墨日本大使、日本商工会議所会頭を始め、駐墨の日系企業もスポンサーとして参加し、同国との文化・経済交流に大きく貢献した。



【そち祭り概要】

世界遺産であるソチミルコ運河での着物ショー、日本・メキシコの音楽や伝統舞踊、民芸品や食べ物を紹介するブースが設けられ、日墨双方の文化を楽しむことができるイベント。



丸田さんのコメント

「そち祭り」はトビタテ留学中、日本とメキシコのビジネス上の距離が近づいているのにも関わらず、心の距離が遠いのではないかと考え発案しました。区長への提案後、様々な激しい紆余曲折を経て実現したこの「そち祭り」は、多方面から日墨関係の歴史に残るイベントだったと言われました。トビタテ生として、このイベントを開催する勇気ももらい、日墨両国で多くの方々に応援していただきました。皆様にとっても感謝しています。ありがとうございました。



イベント当日晴やかな笑顔の丸田さん